

展示期間：令和7年7月25日(金)
～令和7年8月20日(水)

休館日：毎週木曜日
土曜日・日曜日を除く祝日

滝川市立図書館 × TSUTAYA BOOKSTORE 滝川 連携企画

無限大の夏休み

中学生版

読書感想文編

図書館のおすすめ

滝川市立図書館 0125-22-4646
滝川市大町1丁目2番15号



『みかん
ファミリー』
俣月 美智子 著
講談社



『それはわたしが
外国人だから?』
安田 菜津紀 著
金井 真紀 絵・文
フレーベル館

中学1年生の美琴は、シングルマザーの母と祖母と暮らしている。ある夏、母が同級生・朱美さんと再会し、彼女の家族と共同生活を始めることに。しかし、朱美さんの家族には隣のクラスの変わり者がいて…。

日本の入管政策に翻弄されてきた外国にルーツのある4人の生きた道のりをたどり、彼らがどんな困難に直面してきたかを平易なことばでまとめる。入管法や難民の人たちをもっと知るためのQ&Aも収録。



『学校に行かない
僕の学校』
尾崎 英子 作
ポプラ社



『夜空にひらく』
いとう みく 著
アリス館

ある出来事をきっかけに学校に行けなくなってしまった中2の氷川薫は、自分で選んだ寮付きの森のフリースクール「東京村ツリースクール」に行くことに。森には「余地」がいっぱいあって…。

暴力事件を起こし試験観察処分となった鳴海円人。補導委託先は煙火店を営む深見静一の家だった。彼は深見と深見の母、住み込みで働く双子の花火師らと同じ家で暮らすうちに、自分の居場所を見つけていき…。

本屋さんのおすすめ

TSUTAYA BOOKSTORE 滝川
0125-26-2222
滝川市新町2丁目10番15号



『アウシュヴィッツの
図書係』
アントニオ
G. イトゥルベ 著
小原 京子 訳
集英社

アウシュヴィッツ強制収容所に、囚人たちによってひっそりと作られた秘密の図書館。本の所持が禁じられているなか、図書係をつとめる14歳の少女ディタは命がけで本を隠し持ち…。実話に基づく物語。



『透明なルール』
佐藤 いつ子 著
KADOKAWA

「人にどう思われるか」を気にしすぎる女子中学生が、不登校ぎみの転校生やマイペースな学級委員との交流を通じて、自分を縛る<透明なルール>に気付く…。空気の読み合い、息苦しさの先に見つけた希望の物語。



『怪物はささやく』
シヴォーン・ダウド 原案
パトリック・ネス 著
池田 真紀子 訳
東京創元社

ある夜、イチイの木の姿をした怪物が少年とその母親の住む家に現れた。怪物が3つの物語を語り終えたら、少年が4つめの物語を話さなくてはならないという…。嘘と真実、そして喪失と浄化の物語。



『白線以外、
踏んだらアウト』
田丸 雅智 著
光文社

白線から落ちないように歩く人々。給食のパンを机にため込む。誰もがやったことのある“あるある”な遊びを、現代ショートショートの名手が意表を突く結末にアレンジする。